

学園の森義務教育学校グランドデザイン2021

本県教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる



【学校教育目標】

自分の可能性に挑戦し、創意をもって未来を切り開く
学園生の育成

つくば市の目標

学びたくなる
楽しい学園・学校

世界の明日をひらく
社会力豊かな
幼児・児童・生徒の育成

【教育理念】

一人一人に寄り添い よさを引き出し 伸ばす 教育の実現

めざす学園像

- 子供が主役の 創意あふれる楽しい学校
- 地域から信頼される 魅力ある学校
- 教師が働く喜びを味わえる学校

めざす学園生像

- 学び合い 高め合う学園生
- 心豊かで 社会力のある学園生
- 活力があり たくましい学園生

めざす教師像

- 熱意と愛情をもち 使命感のある教師
- 意欲的に研修し 授業力のある教師
- 明るく前向きで 協働のできる教師



◇保護者の願い
・安全・安心な学校
・学力向上
・いじめのない学校
・進路決定と自己実現

◇子供の願い
・楽しい学校生活
・わかる授業
・心を許せる友達
・居場所のある学級

組織目標

- “教えから学びへ”の具現化を図る授業づくり
- 一人一人が自己決定でき、認め合い高め合う集団づくり

学園生の笑顔に向けた教育活動

スクールモットー

挑戦・創造・協働

学び合いプロジェクト

学び合い 高め合う学園生

【重点目標】

○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、“教えから学びへ”の具現化を図る授業づくりを工夫する。

【特色ある施策】

- ◆主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
 - ・学習意欲を喚起する課題の工夫
 - ・個別で考える時間の確保
 - ・協働場面の工夫
 - ・ファシリテーターとしての教師の役割の具現化
 - ・振り返りによる学びの定着
 - ・トークトレーニングの実践
- ◆ICT教育の推進(7C学習)
 - ・思考を助ける手立てとしてのICT活用
 - ・一人一台端末を活用した個別最適な学びの実践
 - ・9年間を見通したプログラミング教育の開発と実践
 - ・遠隔授業の導入
- ◆中期ブロックからの教科担任制
 - ・専門性を生かした魅力ある授業の展開
- ◇読書活動の推進(年間50冊以上)
 - ・読み聞かせやブックトークによる啓発(PTA図書委員の協力)
 - ◇つくばスタイル科の充実
 - ・発信型のプロジェクト学習

特別支援教育の体制づくり

- ◆コーディネーターを核とするチーム支援
- ◇9年間を見通した個別計画に基づいた指導と合理的配慮
- ◇関係諸機関との連携
- ◇授業のユニバーサル化
- ◇個別最適な学びを推進するICT機器の効果的

【数値目標(○80%以上 ◎90%以上)】

- ◎進んで授業に取り組んでいる。
- 授業中に自分で考えをもっている。
- 友達との学び合いで新しい考えに気付く。

ゆたかさプロジェクト

心豊かで 社会力のある学園生

【重点目標】

○円滑な人間関係の醸成を図り、一人一人が自己決定でき、認め合い高め合う集団づくりを実践する。

【特色ある施策】

- ◆9年間のつながりを重視した教育活動の実践
 - ・系統的なキャリア教育の推進
 - ・9年間を見通した「キャリアロードマップ」の運用
 - ・キャリアパスポートの有効活用
 - ・縦割り班活動(前・中・後期ブロック集会の実施)
 - ・自己管理能力育成のための手帳教育
 - ・紙媒体からデータ媒体への移行
- ◆自己有用感をもてる特別活動の展開
 - ・創意ある学園生徒会活動
 - ・感動のある学校行事
 - ・子供が主役の教育活動
 - ・過程を大切にする教育活動
 - ・リーダー学年(4, 7, 9年)の活躍の場の設定
 - ・前期課程修了式の実施(6年)
 - ・ブロックの区切りを意識したブリッジプロジェクト(4年, 7年)の実施
- ◇外部人材を活用した豊かな体験活動
- ◇幼児教育と小学校教育の連携・接続の強化
 - ・幼児教育施設との交流推進

心の教育の充実

- ◆考え議論する道徳授業の実践
- ◇いじめゼロフォーラムの実施
- ◇マナーアップ運動の実施
- ◇発達段階に応じた命の授業と人権教育の実施
- ◇合意形成力を育成する話し合い活動の実践

【数値目標(○80%以上 ◎90%以上)】

- ◎毎日が楽しいと思う。
- 自分には良いところがあると思う。
- 相手の気持ちを考えて付き合おうとする。

たくましさプロジェクト

活力があり たくましい学園生

【重点目標】

○健康で安全な生活を持続可能なものにするために、望ましい生活習慣の定着と体力の向上を図る活動を推進する。

【特色ある施策】

- ◆健康教育プログラムの実施
 - ・「学森歯みがき団」による全校歯磨き活動(歯の染め出し・学校歯科医による指導)
 - ・「あわあわ手洗い」の実施
 - ・「元気もりもりプロジェクト」の実施(早寝・早起き・朝ごはんの確立)
 - ・栄養教諭による計画的な食育指導
- ◆体力向上プログラムの実施
 - ・体力テストの活用
 - ・目的意識を持たせた体育の授業
 - ・業間・昼休みを活用した体力アップ運動
 - ・心身の育成を目指す部活動の充実(6年生からの部活動体験の実施)
- ◆系統的な安全教育の実践
 - ・2年:救命教室, 5年:PUSH講習, 8年:心肺蘇生
 - ・危険予測・回避能力の育成
 - ・防災教育, 交通安全教育, 防犯教育, 情報モラル教育等の充実

安全・安心な教育環境づくり

- ◆事故の未然防止と組織での迅速な初期対応
- ◇校内・通学路等の安全点検の実施
- ◇保護者・地域との連携した登下校の見守り
- ◇計画的な教育相談, SC・SSの有効活用
- ◇感染症を予防する生活様式の確立

【数値目標(○80%以上 ◎90%以上)】

- ◎自分の健康や安全を考えて行動している。
- 自分が成長したと思うことがたくさんある。
- 体力テストA+B (45%以上)

信頼される開かれた学校づくり



学校評価

- ◇地域とともに歩む学校づくり
 - ・PTA, 学校サポーターとの協働体制の構築
 - ・細やかな情報発信(便り・HPの充実)
 - ・学校評価の活用と教育の改善
- ◇外部専門家の知見活用
 - ・大学・研究機関・企業 等

- ◇教職員の資質の向上
 - ・主体的研修による、高め合う教師集団の構築
 - ・学びを保証する授業づくり
 - ・高いコンプライアンス意識の醸成
 - ・働き方を意識した校務の効率化, 責任ある情報管理